





釜と山谷の違い

釜ヶ崎を去って早くも数ヶ月になりました。(釜に約四年いました)釜にいた頃は労働者渡世を毎回見ていまこたが、川崎へ流れた今、なかなか手に入らない為、わざわざ山谷へ行って留まりました。(長瀬書店、及び、オニニ、ニニ三三)そのあと山谷を歩いて見たが、釜と谷のちがひなりました。

センターは小さい、立ち飲み屋はない。朝ぶるはない。公園は小さい。又、人通りは少ない。安いコヒー屋はない。(釜だ、たら釜がなくとも時間をつぶせるが、山谷はたらこんどいと思つた。) マ、マンモス公産も、見る前は前の通り大きいかなと思つた。たら二階位の小さい建物だった。(西成警察の五分の一くらいかな) 朝、山谷のセンターへ行つたら、朝七時前、(多分)ホリ公産と労働者の言いあらそいがあつた。(釜山谷同いかな)と思つた) その労働者のビラを見てみると、越冬斗争突入総決起集会、山谷白屋

労働(釜)、釜ヶ崎越冬斗争の映画をやること。釜、山谷をたいへんだなと思つた。こたが、俺は本当に釜ヶ崎が一歩いいと思つた。) 今は川崎のハロツパ(富士見公園)へ現金仕事に行つてゐるが、仕事は少ない。

ドヤ代は高い。(一泊、三畳で八百円) 京浜急行六郷土手駅。酒を飲むのにも、長く川崎駅前へよつろつたきで、のんびりドヤへ帰つておるだけよ。

ドヤは一日中おれない。朝九時においたされる。(毎日通つていてもだ) 東京のドヤまは、釜のドヤまより冷たいよ。マ、東京は地下タビでは歩けないよ。カッパのくるて。ヤ、ぱり釜はいいと思つた。労働者の所だと思つた。

二の二を思つた。釜で朝プロに入つて、立のおやで酒を飲んで、センターをぶらぶらした生活があつてゐると思つた。 \* \* \* 二十二号にもハガキが付けていたのを出します。

山谷について(二日ぐらいいかないな)かたけど、釜と山谷のちがひを、俺が思つたことを書くよ。

まず一番に思つたのがドヤが少くない。道端でよいつぶれた人が少くない。女、オカマもあまりいない。(田小屋、たいな裏が集まる店もない見た) パチンコ屋も少ない、ゲームセンターも少ない(ないようだった)。古本屋も少ない、古い版を売る店も少ない(高い、のみ屋も釜の十分の一もない)いや五十分の一くらいかな)。

センターはトイレは小さい、人間がぶらぶら用なところではない(釜の十分の一くらいかな)。山谷はあまりおもしろくはないところだった。

又、釜には若い人達をみるけど、山谷はあまり若い人がいないよ。 \* \* \* 二十二号のらくがき、釜には色々ラフがキが多かつたが、山谷にはラフがキがない(書く場所がないよ)だ。 \* \* \* やはり釜がいいな)と思つたよ、

酒は安い、センターで一日いてもあきない。東京は東京のまも回りまきにするよ。

やはり東京は俺達の住むところではないと思つた。東京の人は西成警察と同じケタオチが多いと思つた。

川崎次郎太郎(二八オ) わざわざ切手を取つて下まつて有難うございしました。これからもよろしく。

何故、釜を出ない 「労働者渡世」とも面白くないでいます。 \* \* \* 釜でみて、普通の人とちがひを変わらな、心はどこかこつかりた方のように思われます。

どこで普通の世界に出て、奥さんもって、子供もって、アパートにでも住んで暮さないのか、よく分りません。 最近版を二冊づつ、三冊送つて下さい。

埼玉・末永時亮(六十六オ) 釜を出てしまつたら、渡世がだせなくなりませう。そのうち末永さんも面白い雑誌を編めなく存りますよ。

御握り屋、だらこなれど 渡世の人の店と思つて前にはよく御握り屋さんに行きました。このごころはごつと割りました。 \* \* \* 冬に朝早く起きるのはほんとにけど、われわれもくらいつちからセンター行ってからいごごさかをするばあいもあり、こんどいのけ同じです。渡世の人ならわかるでしよう、おねがひします。 \* \* \* 田中武夫(三五オ)

誠に申し訳ない。このハガキを置いてからも朝早く店を開けらるすにいら、なんでも。 \* \* \* 二四号、落手

二の冬はこのほか遠い日が多いですが、編集委員の皆様も元気で頑張つていられる事と拝見致します。 \* \* \* 二四号を お送り下さいましてありがとうございます御座居ります。

僕が書いたまん、いくらか手直して下さつたおかげで読みやすくなつています。お手紙掛けてすみませんでした。

「御握り屋」では女児御出産の由、おめでどう御座居ます。 厄の警備と赤ちゃんへの健やかな成長を祈り上げます。 \* \* \* 豊川 信雄

謹賀新年 どうかいそぎをこしています。だが命のあるかぎりがんばります。 \* \* \* 尾野さん昨年12月に死亡されました。 \* \* \* 豊川さんからもお話を聞きました。遅くなりましたが、今年もよろしく

札幌・高田五吉・ユキ 今年もまた、きびしい年明けですが、「労働者渡世」の限りない持続を期待しています。 \* \* \* 豊川さんからもお話を聞きました。遅くなりましたが、今年もよろしく